

## 第8章 再生可能エネルギー導入普及に向けた基本方針

### 8.1 地域特性

上越市には、豊かな自然環境等の「上越市の強み」と、人口減少等の「上越市の抱える課題」がある。「上越市の強み」を活かし、「上越市の抱える課題」を解決していくことが重要である。

#### (1) 上越市の強み

- 雪が豊富であり、雪氷冷熱利用の促進が見込まれる。
- 戸建住宅が多く、家庭用太陽光発電普及の可能性がある。
- 森林バイオマスが、潜在的に存在する。
- 北陸新幹線による観光客の増加が見込まれ、再生可能エネルギーを活用した農産物ブランド化等の可能性がある。

#### (2) 上越市の抱える課題

- 人口減少、少子高齢化が進行し、今後の地域活力の低下が懸念される。
- 自動車利用が多く、CO<sub>2</sub>排出量増加の原因となっている。
- 雪の除雪に毎年、多額の費用がかかっている。
- 東日本大震災の発生により、災害時のエネルギー確保への関心が高まっている。

### 8.2 基本方針

再生可能エネルギー導入普及に向け、「上越市の強み」を活かし、「上越市の抱える課題」を解決していくことが重要である。

#### (1) 低炭素型都市への転換を目指す

- 再生可能エネルギーの導入により、エネルギー自給率を高める。
- 省エネルギー機器の導入により、エネルギー消費量の削減を図る。

#### (2) 再生可能エネルギーを通じた地域活性化を目指す

- 観光、農林業分野と連携した再生可能エネルギーの活用を図る。
- 豊かな地域資源を活かし、エネルギーの地産地消との相乗効果が図られる再生可能エネルギー導入の促進に積極的に取り組む。
- 市民ファンドなどによる地域経済への貢献方策を見出す。

#### (3) 災害に強い安全・安心なまちづくりを目指す

- 自立・分散型の再生可能エネルギー導入により、災害時にも安定してエネルギー供給できる仕組み作りを目指す。

### 8.3 未来のすがた

上越市内の既存の再生可能エネルギー施設を活用しながら、再生可能エネルギーの普及を図っていく。上越市内の3つのエリア別の方向性を以下に示す。上越市の未来のすがたのイメージ図を次ページに示す。

#### (1) 市街地における方向性

- 太陽光発電（公共施設、家庭）の導入促進
- クリーンエネルギー自動車の普及促進
- 生ごみなどの廃棄物バイオマスの供給
- 間伐材等の木質バイオマス資源・エネルギー利用
- 温度差エネルギー（工場廃熱、融雪用地中熱ヒートポンプ等）の利用促進
- ライフスタイルの見直し、省エネ機器の導入普及

#### (2) 田園地域における方向性

- 間伐材等の木質バイオマス資源・エネルギー利用
- 遊休農地等の未利用地へのメガソーラーの設置
- ライフスタイルの見直し、省エネ機器の導入普及

#### (3) 中山間地域における方向性

- 雪氷冷熱利用による冷房、冷蔵による農産物のブランド化を推進
- 小水力発電の導入促進
- 間伐材等の木質バイオマスの資源・エネルギー利用
- ライフスタイルの見直し、省エネ機器の導入普及



図 8-1 再生可能エネルギー導入を通じた上越市の未来のすがた（イメージ図）